日本工学院専門学校 開		開講年度	度 2020年度		科目名	エンタテインメント1 (フリフロタクショ ン)		
科目基礎情報								
開設学科	ミュージックアーティ	スト科	コース名	プレイヤ-	-コース		開設期	前期
対象年次	2年次		科目区分	必修			時間数	30時間
単位数	2単位						授業形態	講義
教科書/教材	スコア・参考資料等は、必要に応じて配布。							

担当教員情報

|担当教員||広瀬眞之、永田志実 | 実務経験の有無・職種||有・プレイヤー、コンポーザ、プロデューサ

学習目的

この科目を受講する学生は、1週間の中でアンサンブルをしてきた楽曲を録音し、ミックスする。マイクロフォンの基礎知識やドラムセット等へのマイキング 基礎テンポに合わせて演奏することから、望む音質・バランスを各楽器で試し、演奏技術の向上には欠かせない録音作業の経験を積むことにより、演奏者として の総合力を向上させる。

到達目標

受講学生は、録音作業だけでない音源の完成へのプロセスを学び、個々の行った録音音源の完成を目指す。ProToolsソフトと使用し編集ウィンドウとインストゥルメントトラックと作成する。担当バンドの学生はレコーディング、その他の学生は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等も学習していく。

教育方法等

この授業では、1週間の実習の中で演奏している楽曲、様々なジャンルで、いろいろな録音作業の実習を積み重ねることを主眼とし、グルーブ感など音に対する反応や、音質・バランスなどの繊細なコントロール等を把握していく。

授業概要

受講学生全員が同時に録音作業できるわけではなく順番に数人ないしは一人一人の作業となるので、作業中でない学生も常にマイキング、ソフト オペレートなど、スタッフワーク等で学習を続けること。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

注意点

評価方法

種別	割合	備 考
試験・課題	50%	課題のレコーディングデータを総合的に評価する
小テスト	0%	
レポート	0%	
成果発表 (口頭・実技)	0%	
平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する

授業計画(1回~15回)

	(10 100)	
回	授業内容	各回の到達目標
1回	レコーディング基礎知識 1	授業スタジオの録音システムの基本的な確認。トライアル録音を行い、使用方法・構築システムの基礎的な把握
2回	ProTools基礎講座 1	ProToolsソフトを使用した楽曲制作方法基礎編 1 ~基本設定、編集ウィンドウとインストゥルメントトラック他
3回	ProTools基礎講座 2	ProToolsソフトを使用した楽曲制作方法基礎編2~オーディオトラックとAUXトラック他
4回	レコーディング基礎知識 2	マイクロフォンの基礎知識の修得。ドラムセット等へのマイキング基礎
5回	練習課題曲レコーディング演習 1	課題曲スコア(短めのループスコア)を使用して、レコーディング演奏作業に慣れるようにする
6回	練習課題曲レコーディング演習2	課題曲スコア(比較的短めのスコア)を使用して、レコーディングの演奏基礎力の修得を目指す
7回	練習課題曲レコーディング演習3	課題曲スコアを使用して、レコーディングの演奏基礎力の修得を目指す
8回	オリジナル楽曲等レコーディング実習 1	A/B バンド単位でオリジナル楽曲や課題楽曲を選定
9回	オリジナル楽曲等レコーディング実習 2	演奏担当バンドはオリジナル楽曲を演奏しレコーディングを行う
10回	オリジナル楽曲等レコーディング実習3	演奏者以外は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等を学習する
11回	オリジナル楽曲等レコーディング実習 4	C/D バンド単位でオリジナル楽曲や課題楽曲を選定
12回	オリジナル楽曲等レコーディング実習 5	演奏担当バンドはオリジナル楽曲を演奏しレコーディングを行う
13回	オリジナル楽曲等レコーディング実習 6	演奏者以外は録音スタッフとして活動し、マイキング、ソフトオペレート等を学習する
14回	mix基礎講座 1	レコーディング済み楽曲のトラックmix基礎知識編~mixウィンドウとVolume、PAN他~
15回	mix基礎講座 2	レコーディング済み楽曲のトラックmix基礎知識編~Reverb、Comp、EQ、AUXトラック他~